言語不安、コミュニケーションに不満

本社とＤＩマーケティングが調査

観光経済新聞社と調査会社のＤＩマーケティングはこのほど、インドネシア、ベトナム、タイの一般消費者を対象に、旅行と温泉に関する調査を行った。今回は第２弾としてタイ編を取り上げる。調査によると、99％が日本を観光で訪れたいとの意向を持ち、100％が日本の温泉に興味があると回答した。行く温泉を決めるポイントは「泉質・効能」、温泉街でしたいことは「入浴」がそれぞれ１位。日本旅行中に困ったことは「コミュニケーション」、温泉に行く際に不安なことは「言語」が１位となっている。

【調査概要】

インターネットによるアンケート調査。今年３月６日から１週間で500人が回答。

【回答者属性】

性別＝男性70％、女性30％

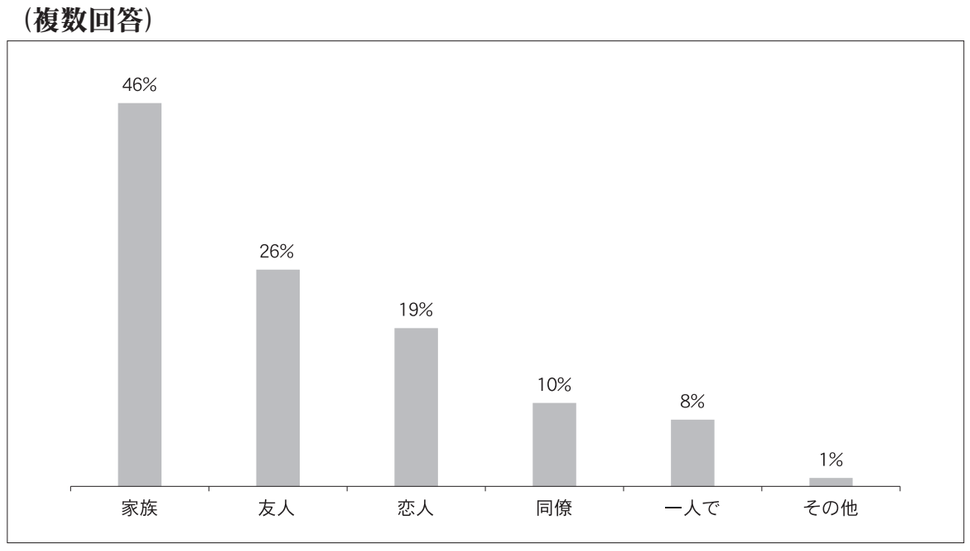
年齢＝16～19歳７％、20～24歳21％、25～29歳23％、30～34歳17％、35～39歳13％、40～44歳９％、45～49歳４％、50～54歳３％、55～59歳３％、60歳以上０％

居住地＝バンコク53％、セントラル12％、ノースイースタン10％、サザン11％、ノーザン14％

職業＝公務員11％、自営業16％、学生16％、オフィスワーカー42％、フリーランス４％、主婦５％、求職中・定年退職４％、その他４％

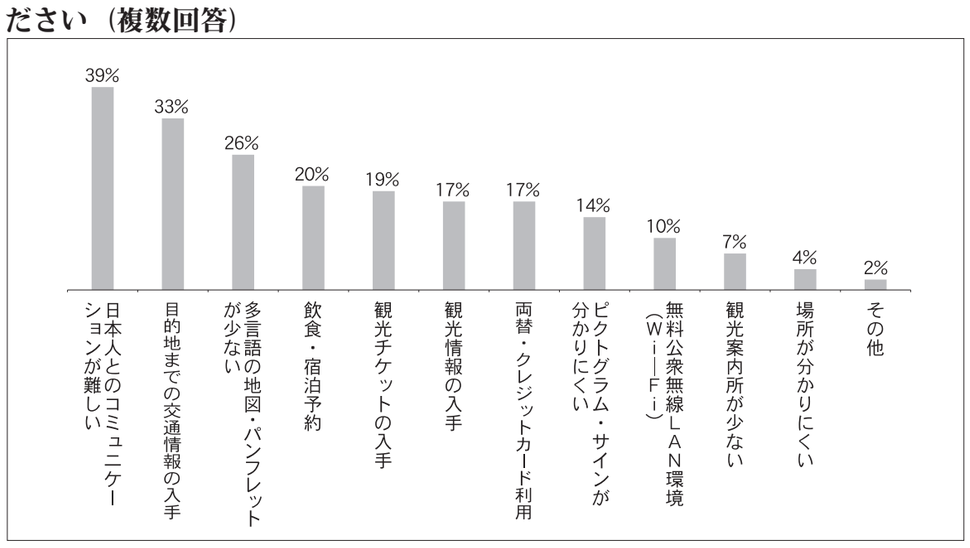
世帯月収＝２万㌫未満14％、２万～２万9999㌫21％、３万～４万9999㌫25％、５万～５万9999㌫15％、６万㌫以上26％（１㌫＝約3.4円）

Ｑ５　誰と一緒に日本へ訪れたことがありますか。当てはまるものを全てお選びください（複数回答）



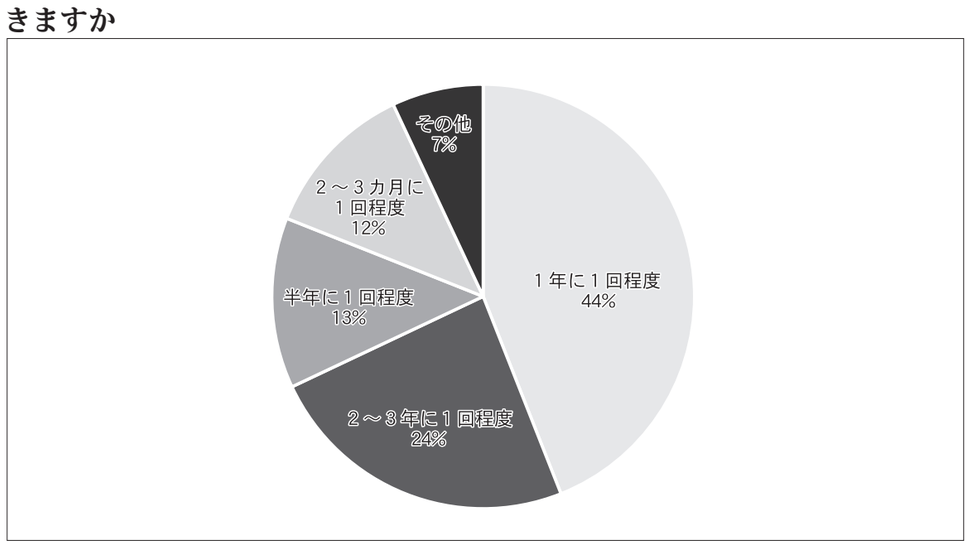
「家族」が46％と半数近くを占めてトップ。「友人」「恋人」がこれに続いた。家族と回答した割合は20歳未満が唯一60％台で、ほかは40％台。「一人で」は20代が13％と、唯一の2桁台。

Ｑ６　日本旅行中に困ったこと、不満だったことについて当てはまるものを全てお選びください（複数回答）



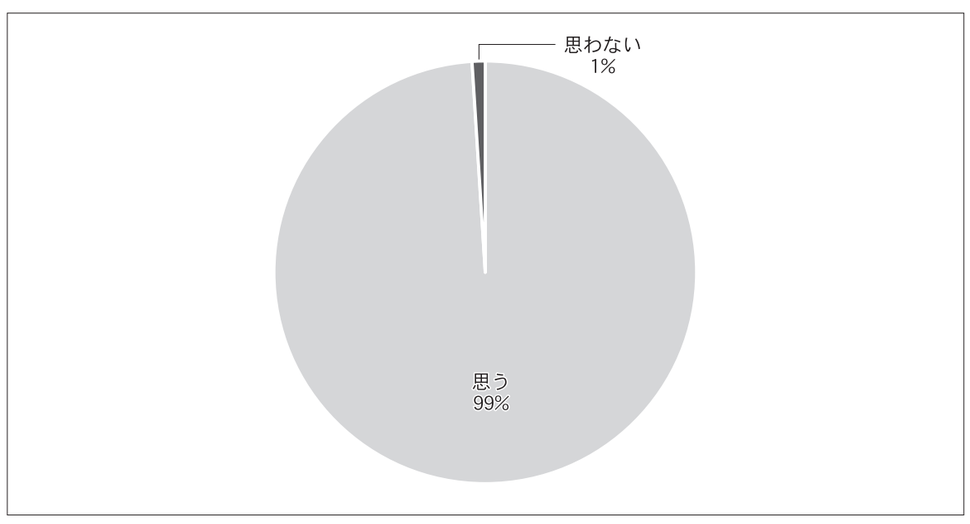
「日本人とのコミュニケーション」と「交通情報の入手」が30％台で1位、2位となった。先に掲載したインドネシア人への調査ではコミュニケーションが64％と圧倒的に多かった。

Ｑ１　海外旅行へ行ったことがある方へお伺いします。どれくらいの頻度で海外旅行へ行きますか



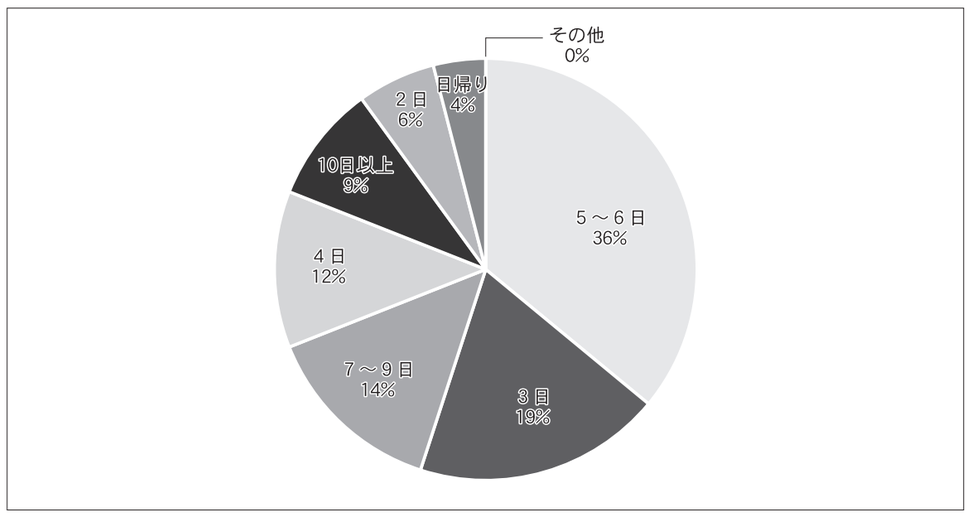
海外旅行には回答者の100％が行ったことがあると回答。そのうち、その頻度を聞いたところ、1年に1回程度が44％と最も多かった。世帯収入別でも割合に大きな差は見られない。

Ｑ７　あなたは今後日本に観光で訪れたいと思いますか



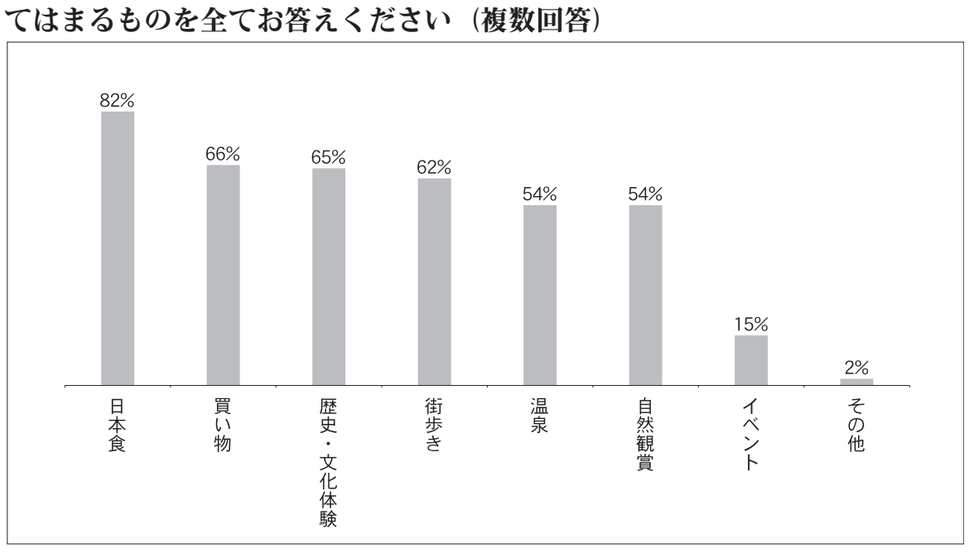
日本を訪れたいと思う人は99％と、ほとんどの人が回答した。先のインドネシア人への調査と同じ結果だった。年齢層別では20代以外の層、性別では男性が全て日本を訪れたいと回答している。

Ｑ２　海外旅行へ行く場合の日数について一番多いものをお答えください



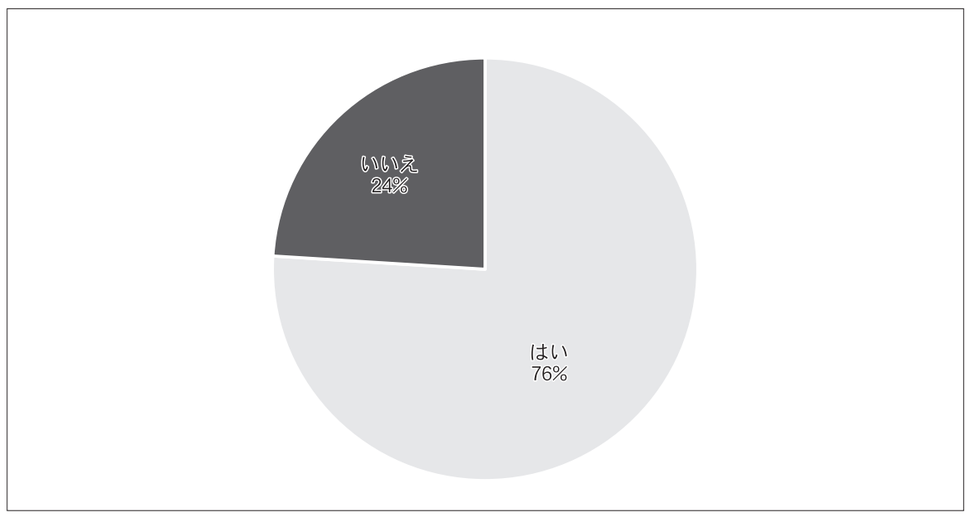
「海外旅行へ行く場合の日数で最も多いもの」は「5～6日」が36％と、およそ3分の1を占めた。以下「3日」「7～9日」「4日」など。「日帰り」も4％と少数だがあった。

Ｑ８　日本に観光で訪れたいと思う方へお伺いします。日本に訪れたい理由について、当てはまるものを全てお答えください（複数回答）



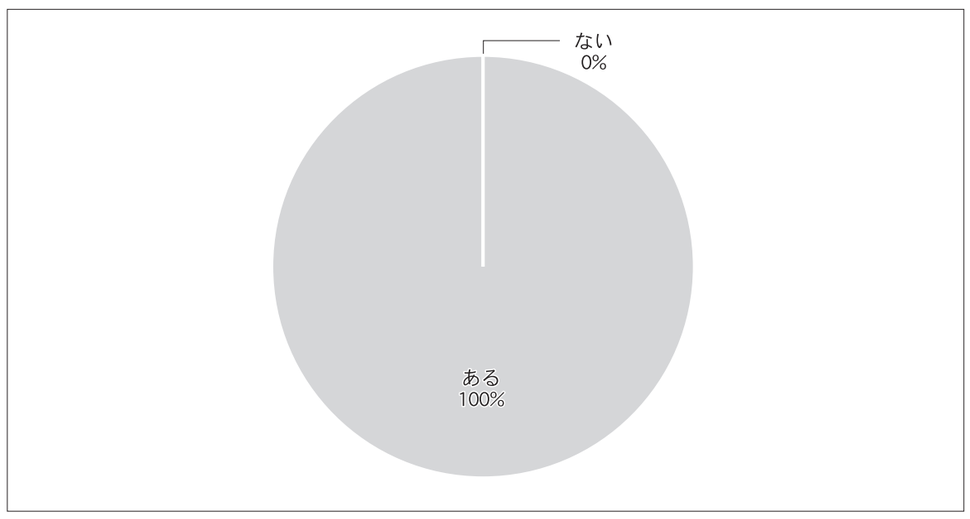
インドネシア人への調査では「自然観賞」が74％とトップだったが、ここでは「日本食」が82％とトップ。「買い物」「歴史・文化体験」なども多い。「温泉」も54％と半数以上が回答している。

Ｑ３　あなたは日本に観光で訪れたことがありますか



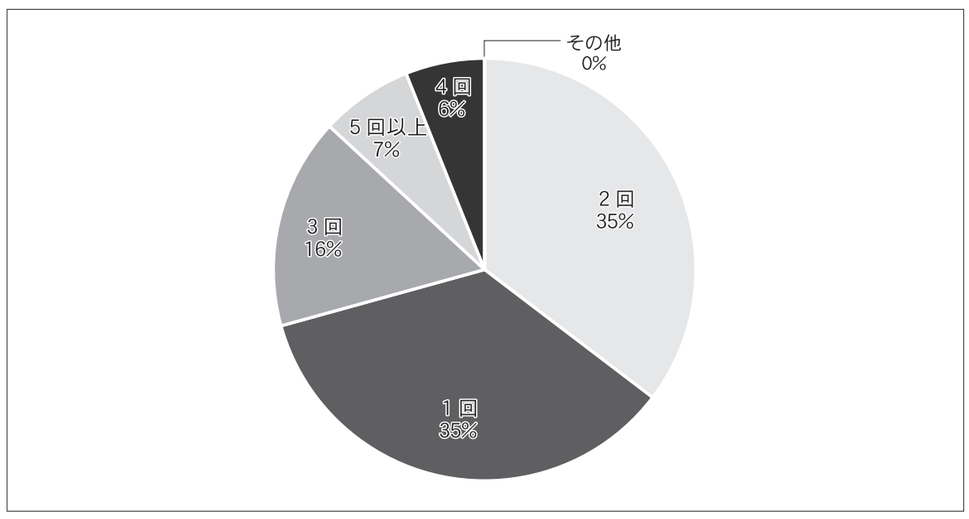
訪れたことがある人は76％と、およそ4分の3を占めている。年齢層別では40代以上の最も高い層が64％で、ほかの若い層は70～80％台。世帯月収別では高収入になるほど率が高い傾向だ。

Ｑ９　あなたは日本の温泉に興味はありますか



100％と、全ての人が興味があると回答した。インドネシア人への調査でも98％、特に40代以上で100％が温泉に興味があると回答しており、海外における日本の温泉人気の高さをうかがえる。

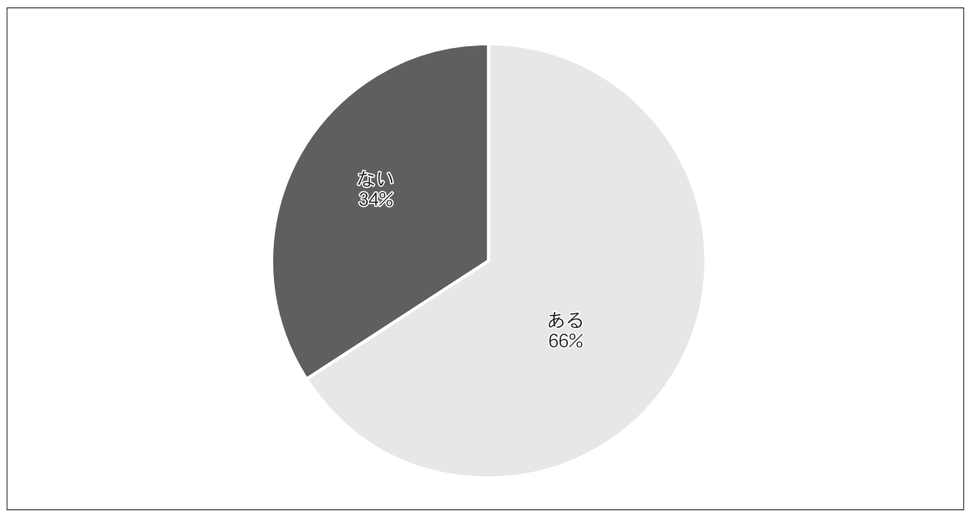
Ｑ４　あると答えた方へお伺いします。何回訪れたことがありますか



日本への旅行経験者に、その回数を聞いたところ、「2回」と「1回」が同率で35％と最も多かった。2回以上のリピーターは65％と半数以上を占める。年齢層別でも全ての層が60％台。

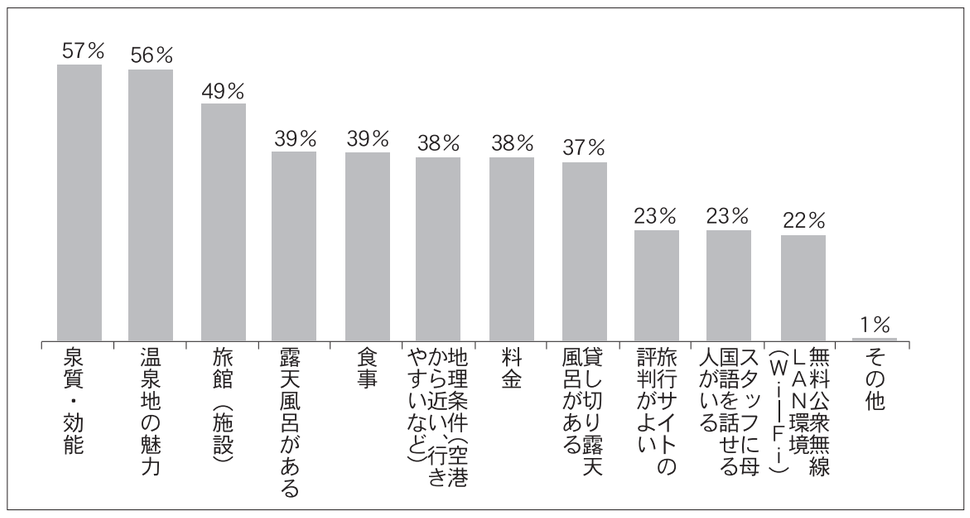
タイ人の100％が「日本の温泉に興味」

Q10　あなたは日本の温泉に行ったことがありますか



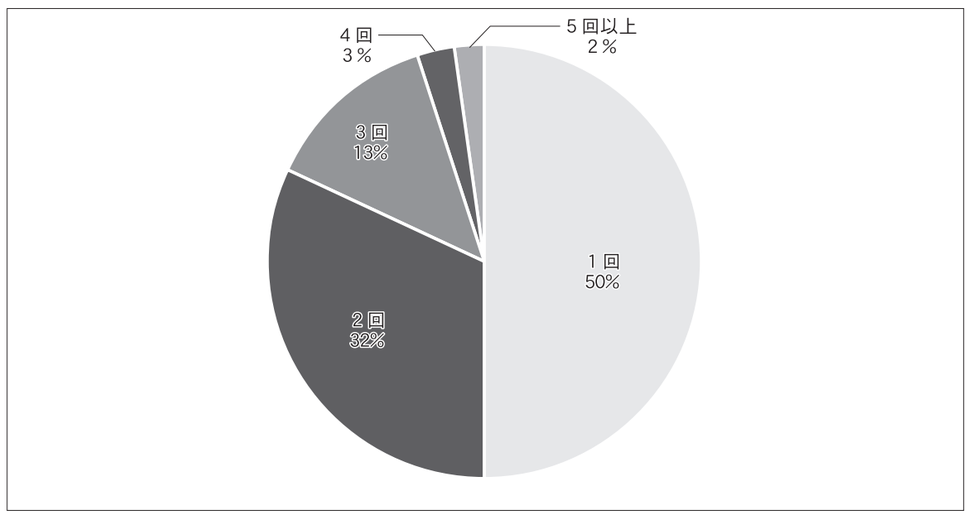
行ったことがある人は66％と、3人に2人が回答した。性別では、男性が77％、女性が61％。年齢層別では、40代以上が50％と半数にとどまるが、ほかの若い層は60～70％台と、高い比率となっている。

Q15　行く温泉を決めるポイントはどこですか。当てはまるものを全てお答えください（複数回答）



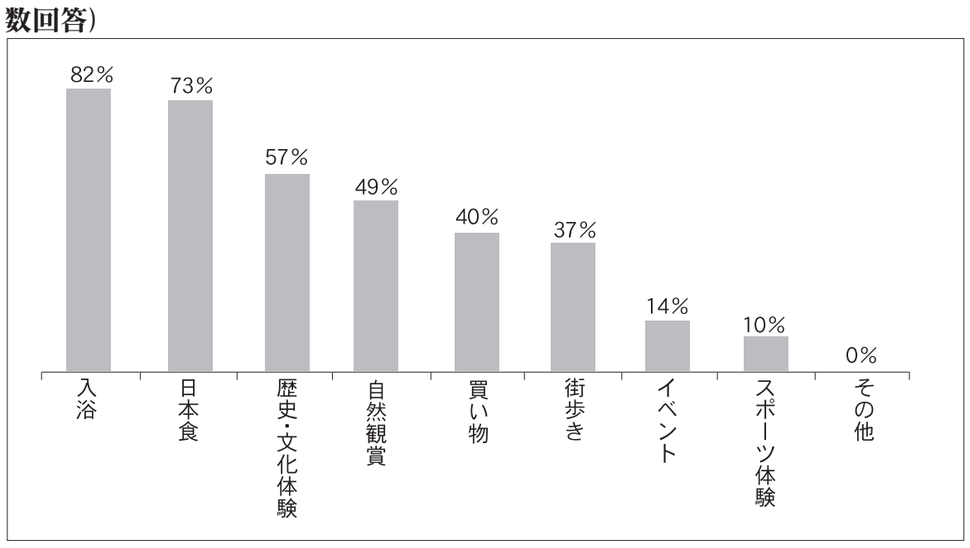
「泉質・効能」「温泉地の魅力」を半数以上が挙げた。「旅館（施設）」も49％と、約半数が挙げている。インドネシア人への調査では「温泉地の魅力」が59％と最も多く、2位に「料金」（51％）が挙がっていた。

Q11　あると答えた方にお伺いします。訪問回数をお答えください



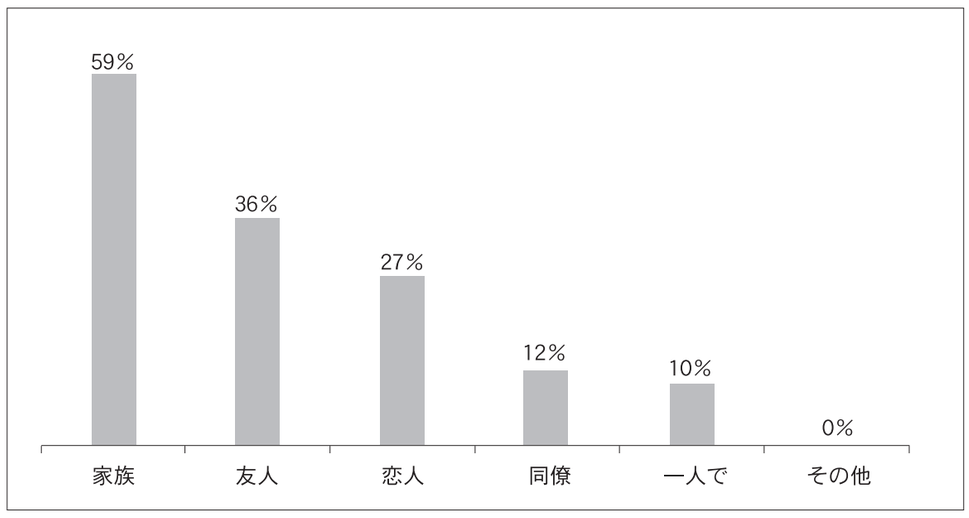
日本の温泉に行ったことがある人に、その回数を聞いたところ、「1回」が50％と半数を占めた。「5回以上」というハードなリピーターは2％で、世帯月収別では6万ﾊﾞﾂ以上が4％、ほかは0～1％。

Q16　温泉街へ行ったら何をしたいですか。当てはまるものを全てお答えください（複数回答）



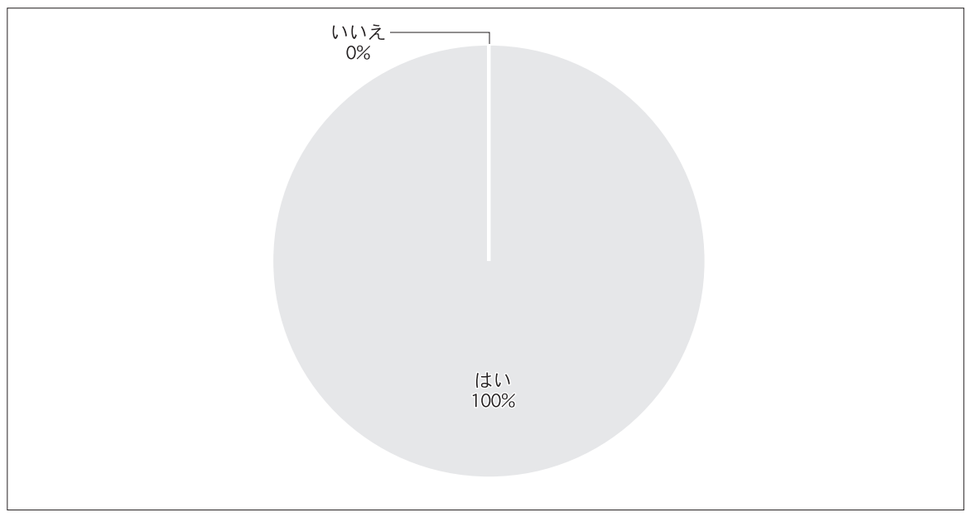
温泉街でしたいことのトップは「入浴」。「日本食」も73％で2位と、高い数字となっている。インドネシア人への調査では、トップは入浴で変わらないが、2位は「自然観賞」だった。

Q12　温泉へ行ったことがある方へお伺いします。誰と行きましたか（複数回答）



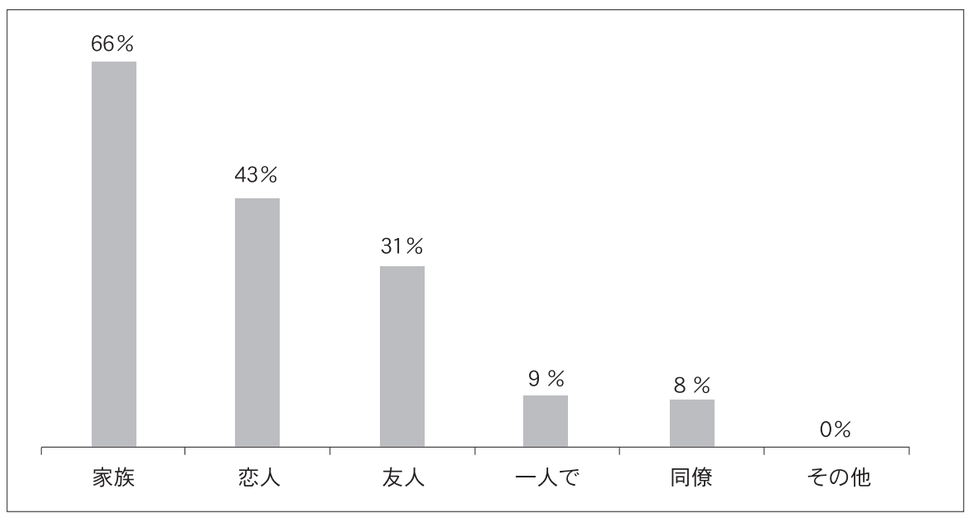
温泉への同行者を聞いたところ、「家族」が59％と約6割を占めた。以下、「友人」「恋人」などで、「一人」は10％と最も少ない。回答に男女差はほとんど見られない。年齢層別では、20代で一人が14％と唯一2桁台。

Q17　行きたい温泉はありますか



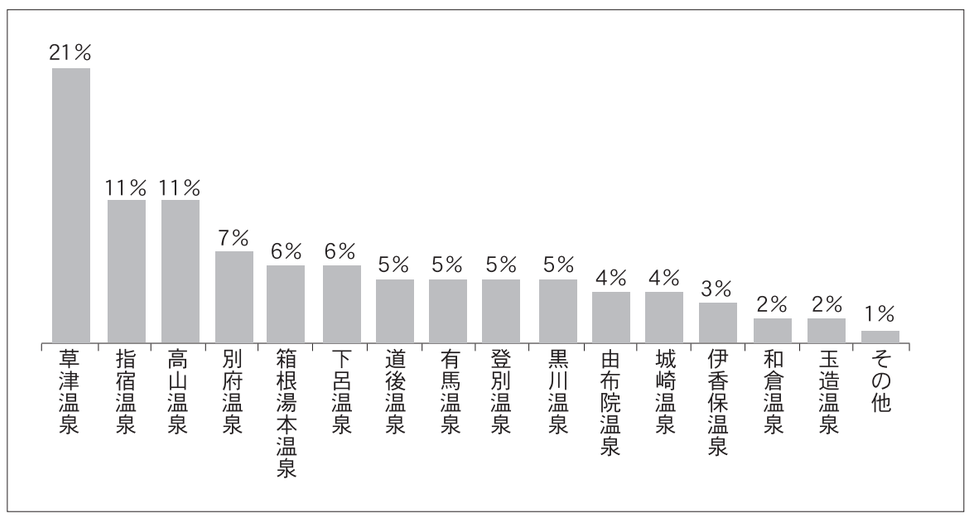
100％の人が行きたい温泉があると回答した。インドネシア人への調査では84％だった。タイはインドネシアに比べて、日本の温泉に関する情報がよく行き渡っているのかもしれない。

Q13　誰と一緒に行きたいですか（複数回答）



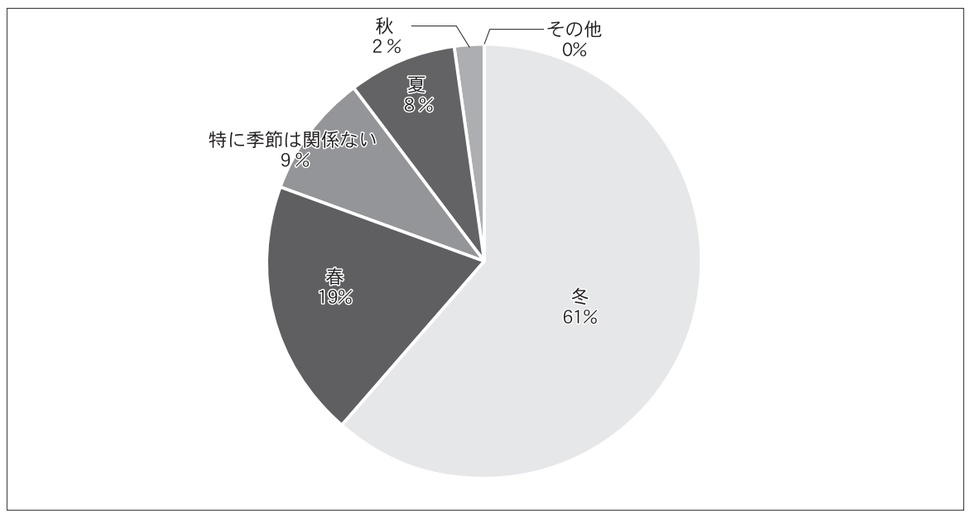
「一緒に行きたい人」は「家族」が66％と最も多いが、Q12で3位だった「恋人」が43％と2位に上がっている。3位は「友人」で、「一人」と「同僚」は1桁台の少数回答。

Q18　あると答えた方にお伺いします。どの温泉に行きたいですか



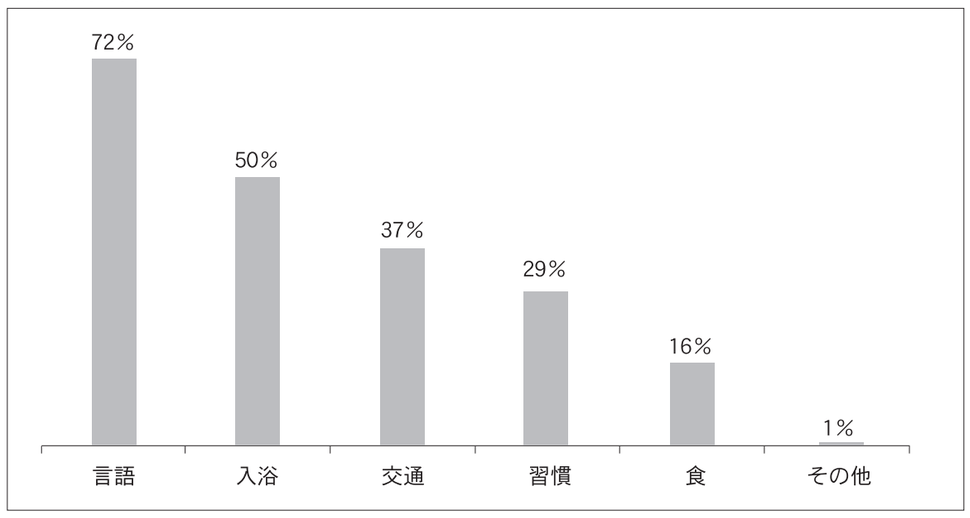
行きたい温泉を一つ挙げてもらったところ、草津が21％とトップだった。性別では男女ともトップが草津。2位は男性が指宿、女性が高山。年齢層別では2位に20代未満で下呂、20代で高山。40代以上は指宿と高山が同率で2位。

Q14　温泉に行きたくなる季節はいつですか



「冬」が61％と半数以上が回答。大きく差が開いて2位が「春」、3位が「特に季節は関係ない」となっている。温泉といえば冬、というイメージが定着しているのかもしれない。

Q19　温泉に行く際に不安なことはありますか。当てはまるものを全てお答えください（複数回答）



「言語」が1位。インドネシア人への調査でも、言語が71％と最も多かったが、2位が「習慣」（58％）だった。インドネシア人はイスラム教徒、タイ人は仏教徒が多く、その違いから生じた結果ともいえる。